

5. 東海（地域別調査機関：三菱UFJリサーチ&コンサルティング（株））

（-：回答が存在しない、：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由	
家計 動向 関連	良くなる やや良くなる	百貨店（経理担当）	・催事によっては、前年と比べて持ち直しの動きがいくつか見られる。	
		百貨店（販売担当）	・良い商品を求める本来のニーズと、不況のなか我慢してきたことに対する反動により、購買意欲が表れてきている。この傾向は、今後も続く。ここ数週間は、来客数が増加しており、春の新作へのニーズも高まっている。また、低価格品と比較して、より商品価値が高い商品を選択する動きも顕著になってきている。	
		百貨店（営業企画・販売促進）	・先行きに対する不透明感是不変なもの、今後経済的に大きなダメージを受ける事案が発生しない限り、新たな季節の到来とともに購買意欲は増す。	
		スーパー（総務担当）	・1人当たりの買上金額は横ばいであるが、1人当たりの買上点数は4%増加している。また、節分の豆やいわし丸干しなどの売上は、前年よりも5%ほど増加している。以上によって、今後はやや良くなる。	
		衣料品専門店（経営者）	・商品価格が低くなり、洗い替えも必要となるため、今後は来客数、販売量共に増える。	
		衣料品専門店（販売企画担当）	・徐々に景気が良い客が増えてきており、今後はやや良くなる。	
		乗用車販売店（従業員）	・これまではナンバー付き未使用車を探す客が多かったが、エコカー減税と補助金のおかげもあり、新車を探す客が増えてきている。事故修理や車検などの工場庫でも、これまで安い他社に取られていた客が戻りつつあるため、今後は収益につながる。	
		乗用車販売店（従業員）	・全体的に底打ち感がある。今後はやや良くなる。	
		観光型ホテル（販売担当）	・前年4、5月は、前々年の米国の大手金融機関の破たんの影響を受けて、地元企業ではあらゆる催事、企画を中止したため、かつてなく落ち込んだ。今年は、ほんのわずかながら再開の兆しがあるため、前年のような落ち込みはない。	
		都市型ホテル（営業担当）	・前年は不景気によって宿泊を控えた客からの予約が、徐々に増えてきている。予約件数は、前年比で約10%増えてきている。	
		旅行代理店（経営者）	・春休みの旅行の動きがかなり良いため、今後も良くなる。	
		テーマパーク（経営企画担当）	・2～3月に暖かい日が続く予報があるため、来客数の増加を見込める。	
		ゴルフ場（企画担当）	・ここ2か月間は、雪さえ降らなければそこそこの来場者数があった。4、5月は、シーズンの良くなる。客は低単価を望むものの、今のところ回数を減らす様子は見られないため、今後は良くなる。	
		その他サービス〔語学学校〕（経営者）	・宣伝、イベント等の新企画の効果が、少しずつではあるものの、出始めつつある	
		住宅販売会社（従業員）	・家電、自動車に続く住宅版エコポイント制度が、どこまで産業を活性化するかにかかっている。	
		変わらない	商店街（代表者）	・客は相変わらず必要以外の物を買わないため、今後良くなる材料は全く見当たらない。ただし、2、3か月前から景気は相当に悪いため、これ以上悪くなることもない。
			商店街（代表者）	・良くなる要素は、見当たらない。ただし、悪くなる要素も見当たらないため、ここ数か月は現状並みが続く。
			一般小売店〔酒類〕（経営者）	・週末に飲食する機会は増えると思われる。ただし、消費者のお金の使い方はまだまだシビアであり、平日を含めて1か月を通してみると、あまり変わらない。
			一般小売店〔食品〕（経営者）	・客の様子を見てみると、厳しい状況は今後も続く。ただし、出費を抑える部分と、財布のひもを少し緩めて出費する部分のバランスは取れてきており、今後更に景気が落ち込むことは何とか避けられる。
一般小売店〔自然食品〕（経営者）	・店舗販売による小売業態が、今後伸びる余地があるとは考えにくい。販売方法の展開を考えていかないと、売れない状況が続く。			
一般小売店〔書店〕（経営者）	・客の様子は、ここ1年近く、変わっていない。今後これ以上悪くもならないし、良くもならない。			

百貨店（企画担当）	・回復基調が見えてはきたものの、一進一退は今後も続く。気候等によって、好不調の波が発生する。消費が回復してきたと判断するには、秋頃まで様子を見る必要がある。ただし、前年秋頃に立てた見通しと比べれば、半年ほど前倒しになっている。
百貨店（売場主任）	・イベントを仕掛けても、売上はなかなか増えない。購買意欲はまだ感じられない。
百貨店（売場主任）	・23日でクリアランスセールが終了し、春物商品に入替えたが、客は見ているだけで商品を手取ることもない。試着を勧めても無視される。このような状態なので、これからしばらく売上は減少する。
百貨店（企画担当）	・好調商品が見られる一方で、売上の大半を占めるアパレル商材は、売上が回復する兆しが見られない。売上は少しずつ回復基調にあるものの、まだ模様であり、ここ数か月で急激に回復するとは到底感じられない。
百貨店（企画担当）	・過去数か月間と比べて今月は、来客数、客単価共に、前年との差が縮小している。しかし、本格的な回復とは言えず、景気が良くなると判断するには、もう数か月間の様子見が必要である。
百貨店（外商担当）	・3月は、前月に続いて春物の動きが良くなる。しかし、ここ数年の傾向から、一通り動いた後、盛夏物が出てくるまでは、動きが止まる。
スーパー（経営者）	・中国等への輸出が増えても、国内消費の低迷は続く。スーパー各社は必死に努力しているが、所得が増えないため、個人も会社も節約志向が更に強くなり、デフレは続く。売上も増えない。
スーパー（経営者）	・季節的には良くなる方向であるが、現状では小売店の力がないため、低い水準での横ばいが精一杯である。
スーパー（店長）	・自動車のリコール問題等により、生産の回復は見込まれない。消費者の節約志向も、依然として強い。
コンビニ（企画担当）	・1～2月中旬までは、前年比でみた場合の売上の減少幅がやや縮小している店舗が出始めており、底が見え始めている。
コンビニ（エリア担当）	・売上の前年割れは、当面継続する。衝動買いをしない傾向も、今後も続く。
コンビニ（店長）	・様々な要素によって、消費者心理は当面変わらない。景気は悪くなることはあっても、良くなることはない。
コンビニ（商品開発担当）	・下げ止まった感はあるが、回復も見込めないため、変わらない。
家電量販店（店員）	・オリンピックの影響でテレビの売上が多少増えているが、来月からは特に大きなイベントがない。
家電量販店（店員）	・ボーナスシーズンに入るが、新卒の就職率が悪く、サラリーマンの所得も増えていない。また、年金生活に入る前の団塊世代も節約志向が強いため、今後良くなる要素はない。
乗用車販売店（従業員）	・販売台数の大幅な増加は見込めないものの、補助金の延長もあるため、それなりの販売台数は見込める。
乗用車販売店（従業員）	・3～6月に悪くなるという感触はない。しかし、4、5月に悪くなるのではないかと不安はある。
乗用車販売店（従業員）	・例年、3月の年度末決算期に受注に尽力する反動で、4、5月の受注は低調となる。しかし今年は、5月にマイナーチェンジの実施によって商品力が向上し、来客数の増加も期待されるため、落ち込みをカバーできる。
一般レストラン（スタッフ）	・客の来店回数に変化はないが、単価が低い状態は今後も続く。
一般レストラン（従業員）	・給料の削減によってこづかいも減り、外食機会は少なくなっている。客は、スーパーで焼酎の大型ペットボトルや安い発泡酒を買って自宅で飲んでいるため、飲食業界は今後ますます厳しくなる。
スナック（経営者）	・しばらくは、歓送迎会等の団体客が増える。しかし、客単価が低下すると思われるため、現状維持が精一杯である。
その他飲食〔仕出し〕（経営者）	・よほど大きな景気の刺激がないかぎり、当面は現状が続く。
観光型ホテル（経営者）	・将来不安はあるものの、更に不安を増すような要素はあまり感じられない。今後も、ある程度の宿泊需要、会食需要はある。地域を代表する企業の信用不安などの大きな変動要因はないため、それほど悪くなることはない。その一方で、有力な事業者が出てきて、それに伴い良くなっていくこともないため、低空飛行で推移する。

	都市型ホテル（支配人）	・宿泊は直近での予約が多く、先が見えない。宴会も、3月の歓送迎会の受注が鈍い。
	旅行代理店（従業員）	・ゴールデンウィークの旅行、5月からの上海万博、6月のワールドカップサッカーの申込共に、今一つである。一昔前のように、イベントで旅行申込が大きく増加することはない。
	タクシー運転手	・節約志向で客の財布のひもは固く、今後も緩まない。悪い状態が続く。
	美顔美容室（経営者）	・例年と比べてここ2、3か月間は、ホワイトニング商品が多く売れた。しかし、新規客がいらないため、4月から始まるキャンペーンでは変わらない。
	設計事務所（経営者）	・住宅案件、企業案件共に低調に推移しており、仕事量が増える気配は全くない。
	その他住宅投資の動向を把握できる者〔室内装飾業〕（経営者）	・問い合わせや見積依頼などがかなり少なくなっているため、今後も厳しい状況が続く。
やや悪くなる	商店街（代表者）	・エコポイント制度による需要には、一服感がある。期間延長によって、駆け込みで買換える客が減少している。冷蔵庫、エアコンに関しては、エコポイント制度の効果は小さい。今後もこの状況は続く。
	一般小売店〔結納品〕（経営者）	・個人消費は、これから先もどんどん冷えていく。
	一般小売店〔電気屋〕（経営者）	・製造業の客からは、仕事がないとの声をよく聞く。今後は更に悪くなる。
	一般小売店〔贈答品〕（経営者）	・企業では、低価格の贈答品を志向するのみならず、付き合いそのものを止めてしまう傾向にある。そのため、贈答品店では単価の低下だけでなく、販売量が減少する傾向にある。贈答の慣行そのものがなくなる心配もしている。
	一般小売店〔惣菜〕（店長）	・民間の給与が伸びないどころか、減少している。また、消費者の低価格志向が強まるなか、苦境が続く百貨店では、これまで比較的堅調とされた食品といえども、改善は容易ではない。
	百貨店（販売担当）	・地元大手自動車メーカーのリコール問題の影響により、関連企業が非常に多い当地区の消費には、今後ダメージが表れてくる。
	スーパー（店長）	・当社では、通勤手当の削減や福利厚生の縮小が進んでおり、新年度は実質の賃下げである。今後はやや悪くなる。
	スーパー（営業担当）	・来客数、販売点数が伸びてこないため、今後はやや悪くなる。
	コンビニ（経営者）	・景気が良くなる要素は見当たらない。特売しても客は必要以上の物は購入しないため、手の施しようがない。
	コンビニ（エリア担当）	・来客数、客単価共に下げ止まらないことに加えて、競合店の増加により、今後はより厳しくなる。
	衣料品専門店（経理担当）	・取引先の決算書等を見ると、また悪くなると思われる。
	乗用車販売店（営業担当）	・地元大手自動車メーカーのリコール問題などで、仕事が厳しくなっていると話す客が多い。そのため、この先はやや悪くなる。
	乗用車販売店（営業担当）	・単価が高い車種の動きは、非常に悪い。比較的低価格な車両の売行きは良いものの、優遇税制の影響もあるため、今後先細りになることは間違いない。
	乗用車販売店（総務担当）	・現在自動車販売が好調なのは、補助金等の影響による一時的なものである。この効果は、今後は徐々になくなっていく。
	住関連専門店（営業担当）	・将来不安のため、住宅購入者は今後減少する。企業の設備投資についても、政策の影響によって大きな投資ができないため、減少する。公共工事も激減していく。
	高級レストラン（スタッフ）	・予約客数の減少は底入れしつつあるが、一般客は引き続き減少している。今後この傾向が変わる兆しは、全く見えていない。
	一般レストラン（経営者）	・地元大手自動車メーカーのリコール問題もあり、春になっても景気回復は見込めない。
都市型ホテル（従業員）	・予約数が減少しており、今後はやや悪くなる。	
都市型ホテル（経営者）	・来客数が不安定であることに加えて、単価もますますデフレ傾向にあり、厳しい状況が続く。	
旅行代理店（経営者）	・価格競争のため、販売件数は増えても、利益にはつながらない。この先どのようなようになるのか、見通しが立たない。	

		旅行代理店（従業員）	・実質賃金が減少しているため、今後はレジャー費用がかなり削られる。旅行業界にとって、非常に厳しい状況が続く。
		タクシー運転手	・タクシー利用客数は一段と減るが、今後各社がタクシー台数を減らすため、やや悪くなる程度である。
		パチンコ店（経営者）	・競合店も含めて、業界全体に低単価傾向があるため、今後も厳しくなる。
		理美容室（経営者）	・客からは、減給や仕事がなくなったとの話ばかり聞く。景気は今後も良くならない。
		住宅販売会社（従業員）	・地元大手自動車メーカーのリコール問題の行方によっては、消費マインドは更に低下する。3月決算期に売上の急増を期待している企業は、厳しい状況に追い込まれる。
	悪くなる	商店街（代表者）	・当地域の経済は、自動車関連に大きく左右される。デフレが進行しているなか、地元大手自動車メーカーのリコール問題の行方によっては、景気は更に悪くなる。
		一般小売店〔時計〕（経営者）	・地元大手自動車メーカーの業績悪化が、当地域の景気に影響を与える可能性がある。
		コンビニ（店長）	・客の低単価試行は今後も続き、安くしないと売れない。
		乗用車販売店（経営者）	・3月までは決算需要でそれなりに活発であるが、決算が過ぎると販売量は確実に減る。
		その他専門店〔貴金属〕（店長）	・経済、社会共に明るさがない。政権交代後はデフレ懸念も著しくなっている。市場が活性化する要素はなく、良くなる見込みはない。
		その他専門店〔雑貨〕（店員）	・地元大手自動車メーカーのリコール問題、景気対策の不在など、景気が良くなる材料は全くない。
		旅行代理店（経営者）	・今年に入ってから、更に景気が悪化しているという話をよく耳にする。また、地元大手自動車メーカーのリコール問題も、景気の悪化に拍車を掛ける。
		美容室（経営者）	・客との話では、景気が良くなるきっかけがないとのことである。
		理容室（経営者）	・景気は、まだまだ悪くなる。当店では、従業員への給料の支払いもままならない状態になる。
		住宅販売会社（経営者）	・業界全体で、在庫が増えている。住宅の買い控えがみられる。
		住宅販売会社（従業員）	・住宅建築業界にとっては、住宅版エコポイント制度程度では、見向きもされない。市場の冷え込みは、今後も解消されない。
企業 動向 関連	良くなる やや良くなる	-	-
		出版・印刷・同関連産業（経営者）	・県内の主要都市の駅周辺では、飲食店の来客数が増え始めている。対象となる企画を組むことにより、出稿量を増やせる見込みである。
		窯業・土石製品製造業（経営者）	・前年夏期と比較して、秋期の住宅着工件数は増加している。そのため、窯業界の景気は多少なりとも良くなる。
		一般機械器具製造業（経理担当）	・3月決算までに実施予定の仕事が、入ってきている。見積も、少しずつではあるものの、受注に変わってきている。
		輸送用機械器具製造業（品質管理担当）	・長期の生産計画を見ると、今後はやや良くなる。
		輸送業（エリア担当）	・半導体業界など、景気が回復している業界がある。また、船荷運賃の値上げに伴い、航空貨物は増加する。
		金融業（法人営業担当）	・比較的体力がある輸送用機器関連の部品メーカーでは、割安の他社工場を買収するなど、設備投資に前向きな動きがみられる。そのため、今後はやや良くなる。
		不動産業（開発担当）	・モデルルームへの来場客の様子をみると、分譲住宅への実需はある。これまで抑えられてきた分、今後は緩やかに購入へとシフトしていく。
		その他サービス業〔広告印刷〕（従業員）	・これまでの問い合わせが、今後は徐々に受注に結び付いていきそうである。今よりは多少良くなっていく。
	変わらない	化学工業（人事担当）	・少し前までは今後徐々に良くなると見込んでいたが、地元大手自動車メーカーのリコール問題が、今後しばらく影響する。
		窯業・土石製品製造業（社員）	・営業努力により、新分野への進出の成果が表れつつある。しかしその反面、磁気テープ関連では市場規模の縮小により撤退が相次いでおり、現状維持が精一杯である。
		金属製品製造業（従業員）	・競争業者が減らない限り、販売価格が上昇する兆しは見えてこない。
		一般機械器具製造業（営業担当）	・設備投資の動きは出てきているものの、北米、欧州の自動車産業は、依然として回復したとはいええない状況にある。中国やインドではおう盛な設備投資計画があるが、現地メーカーとの価格競争に終始しており、受注できる可能性は非常に低い。

		<p>一般機械器具製造業（経理担当）</p> <p>電気機械器具製造業（経営者）</p> <p>電気機械器具製造業（営業担当）</p> <p>建設業（経営者）</p> <p>輸送業（経営者）</p> <p>輸送業（エリア担当）</p> <p>輸送業（エリア担当）</p> <p>輸送業（エリア担当）</p> <p>新聞販売店〔広告〕（店主）</p> <p>会計事務所（社会保険労務士）</p>	<p>・大口受注先からは、「来期後半までには回復するかもしれない」との歯切れが悪い情報が入ってくるだけである。</p> <p>・地元大手自動車メーカーの北米における減産の影響が不透明である。リコール問題が早期に解決し、影響が最小限で収まれば、今月と比べてやや良くなる。</p> <p>・当地では、大手自動車メーカーのリコール問題が尾を引きそうであり、良くなる要素は見当たらない。</p> <p>・当地区では、地元大手自動車メーカーの関連企業の影響が大きい。リコール問題の行方次第では、景気が上向くことも考えられる。</p> <p>・消費財はデフレの影響があり、生産財でも内需不足が長引くと見られるため、倉庫への保管料金、運賃収入共に、今後伸びは見込めない。</p> <p>・荷物の減少が止まってきたため、今後は若干良くなる。</p> <p>・主要取引先等からの情報によると、しばらく変化は見られないとのことである。</p> <p>・例年ならば年度末は荷物が動く時期であるが、今年は客先からの荷物情報が、それほど入っていない。</p> <p>・折込広告は、サービス業では回復しているが、流通、不動産では減少したままである。今後も横ばいが続く。</p> <p>・雇用調整助成金を2年目に入っても申請している企業が多く、今後良くなっていくとは考えにくい。近くのスーパーでは、その店限りの商品券にいつもならば行列ができるのに、今は昼になっても半分しか売れていない。消費者の財布のひもも固い。</p>
	やや悪くなる	<p>食料品製造業（企画担当）</p> <p>紙加工品〔段ボール〕製造業（経営者）</p> <p>化学工業（企画担当）</p> <p>輸送用機械器具製造業（総務経理担当）</p> <p>輸送業（従業員）</p> <p>広告代理店（制作担当）</p> <p>会計事務所（職員）</p>	<p>・原材料価格、動燃費が、少しずつ値上がりしている。しかし、販売価格は依然として低価格が続いている。今後、企業の収益は更に圧迫され、個人消費の回復も望めない。</p> <p>・自動車業界の海外での販売量は、回復する可能性が小さい。そのため、受注量は回復しそうにない。輸出用段ボール箱も、数量は減少する。</p> <p>・鉱工業では回復の兆しが見られるが、デフレや円高の影響が大きい業種では、景気回復までにはまだ時間が掛かる。</p> <p>・リコール問題によって、生産台数に影響が出てくるため、今後はマイナス方向に振れる。</p> <p>・大手自動車メーカーのリコール問題や、部品調達コストの引き下げ要請が、デフレを一段と大きくしており、不安要素となっている。原油価格や原材料価格の高騰が、それに追い討ちを掛けている。景気が良くなる話題は全くない。</p> <p>・取引先からの受注量は増えておらず、値下げ要請等もあり、厳しい状況は今後も続く。</p> <p>・今までは年金と事業の両方で生計を立てる個人事業者が多かったが、最近になり廃業する個人事業者が増えている。自家消費分のみ生産する農家や、出漁回数を減らす漁家もある。65歳以上で事業をする人が減ってきている。以上によって、今後はやや悪くなる。</p>
	悪くなる	<p>鉄鋼業（経営者）</p> <p>金属製品製造業（経営者）</p> <p>電気機械器具製造業（経営者）</p> <p>企業広告制作業（経営者）</p>	<p>・鉄鋼メーカーが4月以降に20%以上値上げすると発表したことにより、今後各社は必要な分だけ手配する事態が予想される。そのため、今後は物量、需要共に減少する。</p> <p>・引き合いの減少が続いているため、今後は厳しくなる。</p> <p>・取引先の景気が良くないため、今後の仕事量は減少する見込みである。</p> <p>・地元大手自動車メーカーのリコール問題、既存マスメディアの衰退、広告費の低迷などがある一方で、楽観的な要素は見当たらない。</p>
雇用関連	良くなる	-	-
	やや良くなる	人材派遣会社（経営企画）	・来期の需要が減少する取引先企業もあるが、増加する取引先も出始めている。
	変わらない	人材派遣会社（経営者）	・静岡県西部の求人はほとんど動いていないが、名古屋、東京では動きがある。ただし、その求人もスポット的なものであるため、要望に合う人材はほとんどいない状況である。こうした状況は、今後も変わらない。
		人材派遣会社（社員）	・正社員の求人数は相変わらず少なく、あっても要求されるスキルが高いため、再就職が困難な状態は今後も続く。
		人材派遣会社（営業担当）	・今後も半年以上は、現状が続く。ただし、改正労働基準法の施行により、長時間労働の残業割増率が上がる影響が出てくる。

	求人情報誌製作会社 (企画担当)	・現状では、製造業を含めて景気の上向き感がある。しかし、地元大手自動車メーカーのリコール問題が、先行きを暗くしている。
	新聞社 [ 求人広告 ] (営業担当)	・製造業の求人が、止まったままとなっている。この分野の求人が増えてこない限り、良くはならない。
	職業安定所 ( 所長 )	・求人開拓のため、事業所を訪問して業況を聴取しているが、先行きに不安を抱える中小企業が多い。
	職業安定所 ( 職員 )	・仕事量が増加しても、コスト節約のため、現在の従業員で仕事をこなしている。このような状況は、今後も続く。
	職業安定所 ( 職員 )	・先行き不透明感が強く、事業所は求人や設備投資に対して前向きにはなれない。
	民間職業紹介機関 ( 職員 )	・取引先は地元大手自動車メーカーの動向を注視しており、当面は様子見である。3月の派遣契約終了者数を、4月にカバーできない状況にある。
	民間職業紹介機関 ( 支社長 )	・地元大手自動車メーカーのリコール問題が地域経済に影響を与えるとすれば、大きいものとなる。しかし、どのような影響を与えるかは、今は不透明である。
	学校 [ 大学 ] ( 就職担当 )	・企業では、今後の景気をじっくり判断しようとしている。そのため、新卒採用数の決定は先送りになっている
	学校 [ 専門学校 ] ( 就職担当 )	・今月実施した会社説明会のアンケートを見ると、前年同期と比べて学生のエントリー企業数は増加しており、内定者数は減少している。今後も厳しい状況が続く。
やや悪くなる	人材派遣会社 ( 社員 )	・現時点で、歓送迎会の予約状況は良くない。実際に予約が入ることもあるが、いずれにしても規模は縮小傾向にある。
	アウトソーシング企業 ( エリア担当 )	・地元大手自動車メーカーからの受注見込みは、悪化傾向にある。リコール問題と関連しており、先行きは悪くなる。
	新聞社 [ 求人広告 ] ( 営業担当 )	・地域の主要産業である自動車産業の回復が、遅れそうな状況にある。
	職業安定所 ( 職員 )	・年度末には、正社員の解雇や非正規社員の雇止め等に伴う大量離職が予想される。
	職業安定所 ( 職員 )	・新規求人数は微増しているものの、求職者が希望している製造業関係の求人が少ないため、求職者は製造業以外の求人から再就職先を決めている。最近では、非正規労働者の求職者は少なくなっている一方で、正社員の人員整理等に伴う離職者が目立っている。企業は現状維持が精一杯であり、求人数の増加も、仕事量の増加に伴うものではない。以上により、今後やや悪くなる。
	職業安定所 ( 職員 )	・年度末にかけて、各業種で雇用調整が行われる。特に二輪メーカーの下請企業の動向が懸念される。
悪くなる	人材派遣会社 ( 支店長 )	・周辺の企業では、固定費削減のため、今後、非正規雇用者の時短勤務対象者が拡大する。また、地元大手自動車メーカーのリコール問題にも関連して、今後の企業の景気は楽観できない。
	人材派遣会社 ( 支店長 )	・派遣労働者の大半の契約は、事務用機器操作で採用されているが、文字、数字のみの入力作業は専門性がなく、この契約には該当しないとの通達が所管省庁から出されている。その影響により、今後は派遣期間に制限を受けるため、派遣市場は更に縮小する見込みである。
	職業安定所 ( 職員 )	・例年、年度末に向けて求職者は増加するが、今年は正社員の解雇等も増加し始めており、求職者は一層増加する。